# 「トイトーク」を試してみましょう!

上手な「ことばかけ」の基本は、お子さんの気持ちに寄り添って、

お子さんが興味を持っている物の名前、お子さんの気持ちなどを言葉にして聞かせてあげることです。 言える言葉が増えてきたお子さんには、「トイトーク」を試してみましょう。

#### 1 おもちゃについて話しましょう

トイトークは、お子さんと過ごすあらゆる場面で 使用できます。お子さんがどんなことをしている 時でも可能です。お子さんが興味を持っているお もちゃや生き物、道具などについてお話をしてみ ましょう。

#### 2 動きについて話しましょう

お子さんが興味を持っているいろいろなものの 動きや変化についてお話ししましょう。

色や形、「あった」「いた」など『状態』についてお話しするのも良いですが、意識的に「どうしているのか」「何をしたのか」「どうなったのか」など『動き』や『変化』について言及することがポイントです。

また、同じ動詞でも様々に活用させてことばかけできるとさらに効果的です。

- ◎ ぞうさんが歩いてるね
- ◎ 椅子に座ってるね
- ◎ ぞうさん休んでるのかな
- ◎ ご飯食べてるね(食べないね、食べちゃった ね、食べたそうだね、食べるんだね)

#### 1) ごっこ遊び

ごっこ遊びは、ご家庭でできる身近な遊びです。 お子さんの持っているお人形やぬいぐるみを使っ て、何かを食べさせる、お風呂に入れる、寝かせ るなどして遊びます。大人は、お子さんが遊んで いるおもちゃの気持ちや行動を言葉にして聞かせ てあげます。 お子さん:わんわん

*大人* : わんちゃんお腹すいたって

ご飯が欲しいんだって

*お子さん*:うさぎさん

*大人* :うさぎさん寝てるね

お布団かけてあげようね

#### 2) パズル、積木など

積み木を積む、パズルに取り組む、同じものを集めるなどの遊びです。お子さんが注意を向けているものについてお話ししてみましょう。例えば、お子さんが持っているパズルのピースなどです。

*お子さん*:ここ?

*大人* : アンパンマンここに入れよう

ねこちゃんをここに乗せよう

#### 3)繰り返し遊び

ボールのやり取りなど、繰り返し遊びをもっと楽しく行ってみましょう。お子さんが使っているおもちゃについてお話ししましょう。

*お子さん*:ボール

*大人* :ボール投げるよ

ボール待って

ボール行っちゃった

)))

#### 4) 読み聞かせ

簡単な絵本を一緒に見る時、物の名前を教えるだけでなく、絵に書いてあるものや動物などが、何をしているのか、何を思っているのかについてお話ししましょう。

お子さん:(絵を指して、大人の顔を見る)

*大人* : ねこちゃん笑ってるね

©日本コミュニケーション障害学会 言語発達障害研究分科会 (2022) 試案

## トイトークを毎日の生活で使ってみましょう!

「トイトーク」を使えるのは遊んでいる時だけはありません。食事中、お風呂に入るとき、お着替えやお片付け、日常のお手伝いをお願いするときなど、様々な場面で活用できます。トイトークを使うことで、日常の出来事がお子さんにとってより興味深いものになり新しい学びの機会になります。

#### 食事中

楽しいご飯の時に「おいしいね」「あったかいね」「たくさん食べてエラいね」など、お子さんの気持ちを代弁してことばかけすることはとても大切です。加えてさらに一工夫。食べる動作や、食べ物の変化についてお話ししてみましょう。

*大人* : ごはん食べようね ママが切ったのよ

ケチャップかけよう

ジュース、こぼれちゃったね

### お料理

お子さんがお手伝いをしてくれそうな時に、 キッチンでお話をしてみましょう。お料理中 は、ものの名前にあふれています。

*大人* :おいもさん、煮ようね

お魚を焼くよ

卵、混ぜまーす

お皿、運んでね



#### 入浴中

お風呂の時間は、お子さんと遊ぶのにとても 良い時間です。お風呂で遊ぶおもちゃや、使う 道具についてお話ししてみましょう。オモチャ のアヒルちゃんと一緒にお風呂に入って、アヒ ルちゃんを洗ってあげるのもいいですね

*大人* :おなかも洗おうね

お船に乗りたいね

おてて、あたためようね

#### お着替え

お着替えの時にも、お子さんの洋服や靴下などの名前を使ってお話しします。

*大人* : ズボン履けたね

シャツ脱いでね

靴下履こうよ

アンパンマンが描いてあるね!



トイトークは、お子さんの気持ちに寄り添いながらことばかけをする「応答的なコミュニケーション」の一方法です。大人は、お子さんの様子をよく観察し、何に注意を向けているか、何に興味を持っているかに気をつけながら、ことばかけをしていいきます。お子さんが興味を持っているおもちゃや生き物、道具などに「動きをつけて」、お子さんの興味が続くように楽しくお話をしましょう。

引用:Hadley, P.A., & Rispoli, M. (2015). Toy talk strategies: An instructional resource.

©日本コミュニケーション障害学会 言語発達障害研究分科会 (2022) 試案